

(2) 到達度イメージ

※H28年度は親子・ベビークラス合同実施。ファミリークラスは休講。

子どもの発達段階に応じた活動内容を展開するために、以下の5クラスを設定します。活動内容は、各クラスの特長および年齢別発達段階を意識し、季節の自然素材を活かしカリキュラム化します。

クラス名	A 親子クラス	B ベビークラス	C ジュニアクラス	D キッズクラス	E ファミリークラス	
参加スタイル	親子	親子	子どものみ	子どものみ	【A～D家族対象】	
およその年齢区分	2～4歳	よちよち～2歳	6歳～小・中学生	3歳前後～6歳	4歳～6歳	
活動日・食事	第2・4水曜日 おやつ付	第2・4水曜日 おやつ付	第3土曜日 おにぎりのみ持参 軽食付	月火木金 給食/調理体験	年4回程度	
時間	9:30～12:00	9:30～12:00	9:30～14:30	9:30～14:30	9:30～12:00	
達成目標イメージ(個人差を前提に設定しています)	リレイション ①(母子関係)	・ママに見守られて活動できる	・ママの傍らで活動に夢中になる	・自分の意志と主体性を持ちつつ友達を尊重する	・友達と関わりながら、自分で友達関係を作る	・親子の協同作業を通じた尊重と尊敬の芽生え
	リレイション ②(自然との関係)	・生き物に関心をもち自分から触れる ・じっくり観察し始める、集める	・土に触れることができる ・自然物を使って繰り返し遊びを始める	・自然を身近に感じ、つながりを理解し始める ・自然を大切に思い、行動できる	・生物の生態や名に関心を持つ ・天気にかかわらず活動を楽しめる ・日常化する	・自然を身近に感じ、つながりを理解し始める ・自然が心地よい
	ボディ (身体面)	・活動時間を重ねるたびに、足腰がしっかりしてくる ・自ら「歩く」「登る」を楽しむ	・外気に徐々に適応しつつ、時間を過ごし切る ・「歩く」ことに積極的になる	・足腰が斜面や凹凸に適応し、森の中を自由に動くことができる ・危険を予測し未然に回避できる	・外気を感じ取り、厳しい環境下でも身を守ることができる ・自然に対する感知能力の向上	・外気を感じ取り、厳しい環境下でも身を守ることができる ・自然に対する感知能力の向上
	メンタル (精神面)	・汚れが気にならなくなる ・実をとって食べてみようとする ・ママを忘れる	・屋外が心地よいと感じる ・ママと一緒に徐々に活動範囲を広げる	・自分の限界や苦手を意識する ・挑戦し達成感を味わうと共に、自信を習得する	・寂しさや不安感を、友達やスタッフと一緒に乗り越えていく ・自己世界を満喫	・協同作業などを通じて達成感を味わう ・最後まで続ける継続力
活動内容 (イメージ)	・土に触れる ・親子でのモノづくり ・フィールドを思い切り駆け回る躍動感ある活動 ・斜面登り	・裸足で歩く、ペタペタ触るといった、五感を刺激する体験 ・屋外でのスキップやわらべうた遊び	・森林での遊び ・のこぎりや金槌といった道具を使う保全活動 ・子ども自ら企画し実行する主体的活動 ・仲間と協同作業、グループ協議	・森の奥への探検 ・基地づくり ・遊び道具の創造 ・ごっこ遊び ・ランチづくり ・縦断ハイク ・グループ協議 ・協同作業 ・芸術活動	・里山の生活体験 ・田植えと収穫 ・生き物観察 ・里山保全活動 ・川遊び ・農村文化体験	